

「こどもとしょかん」サポートセンター

滋賀まるごとが「子どもたちにとっての“としょかん(本に親しむ環境)”」となるために、全県ネットワークの中心的な役割を担う。

【3つの特長】

県内公立図書館のネットワーク
を活用

情報と物流が充実

学校図書館指導主事(教員)
司書(読書活動普及担当)を配置

学校図書館支援には学校に精通した
専任の職員が不可欠

幼小中教育課、生涯学習課、
「こどもとしょかん」サポートセンターとの連携

関係課との連携が最重要



【3つの事業(柱)】

子ども読書支援

地域や家庭の
読書を支える

学校図書館支援

学校図書館の
活性化を推進する

読書支援策の総合
調整・研究・発信

子ども読書支援

主な取組 令和6年度

多様な子どもたちの読書機会の確保

大津少年鑑別所、子ども家庭相談センターの一時保護所(中央・日野)に対して本の特別貸出やお話し会を実施

取組の成果

複雑な家庭環境や発達課題を持ち合わせている実情があり、施設に入所して、活字に初めて向き合ったという子どももいる中で、可能な限り様々な読書体験をさせてやりたいと考えているが、実際にどのような資料が良いのかわからないので、「こども としょかん」サポートセンターとの連携によって子どもたちの特性を捉えた選書や、より読書の裾野を広げる選書に関して協力してもらえることは大変ありがたい。（施設職員の声）

今後の課題

- 図書館に行けない、活字に触れる機会の少ない子どもたちの読書機会の確保
- 読書ボランティアとのマッチングなど、継続的な支援が可能な仕組みを構築

学校図書館支援

主な取組 令和6年度

① 学校訪問（R6年9月下旬～R7年1月中旬）

- ・19市町各教育委員会による推薦校、19校を訪問 ※本年度は、懇談形式
- ・懇談参加者 【学校】学校図書館長（学校長）・司書教諭・学校司書・市町教育委員会担当者
【サポートセンター】学校図書館指導主事・司書（読書活動普及担当）

② 特別支援学校5校を訪問

- ・4校（八日市・鳥居本・新旭・甲良）に対して、子どもに必要な本を届ける。
- ・1校（八日市）布絵本・布遊具を届ける ※協力：「ボランティアグループ布絵本 さえずり」

取組の成果

① 学校図書館に関する課題認識を学校長、司書教諭、学校司書、市町教育委員会担当者のそれぞれから聞くことができ、サポートセンターが取り組むべき事業の方向性やポイントを把握することができた。（サポートセンターの学校訪問の特長は、学校の教員だけでなく学校司書の話も聞いていること。）

② 児童生徒の実態の多様さ、生活年齢や障害の状態の幅広さに対して、特別支援学校の図書館では手の届きづらい部分をセンターからの本や布絵本等の貸出によって補うことができ、児童生徒が夢中になって楽しんで読書している姿を見ることができた。

手作りの布絵本はタイミングよく教材に使い、子どもたちも興味津々で楽しく授業ができた。（担当教員の声）

今後の課題

- 学校図書館の活用促進には、学校図書館長である学校長のリーダーシップが重要
- 司書教諭と学校司書との十分な連携を取りやすい体制づくりが重要
- 学校司書は1人職場であり、研修や他の学校司書との交流機会の確保が必要
- 継続的なサポート体制の構築（本年度は、「こどもとしゃかん」サポートの職員が、直接、特別支援学校に本や布絵本等を届けている。）

■ 読書支援策の総合調整・研究・発信

主な取組 令和6年度

「こども としょかん」ポータルサイトの開設・運用 (令和6年12月下旬頃開設予定)

【主な発信内容】 (予定)

- ◆子ども向けページ (キッズ・ティーンズ)
 - ・ 読書や学習に役立つお勧めの本や資料、サイト等の紹介
 - ・ 学校図書館に関わる皆さん向けのページ
- ◆学校図書館に関わる皆さん向けのページ
 - ・ 「学校図書館を活用した年間指導計画の例」の掲載
 - ・ 副読本、デジタルアーカイブの紹介
 - ・ 学校支援用図書とその利用方法の紹介
 - ・ 学校図書館の活用事例や学校図書館に関わる皆さんの情報共有 (閲覧は学校関係者等のみ)
 - ・ 学校図書館に係る研修動画等 (閲覧は学校関係者等のみ)
- ◆読書ボランティアに関する情報 など

今後の課題

- ポータルサイトの認知度を向上させ、学校図書館等における活用を促進
- 学校等でより活用していただけるよう、地域ごと学校ごとの取組を反映するなど掲載情報をバージョンアップ



幼小中教育課の取組

学校図書館連携推進事業

目的:学校図書館に携わる者の連携を強め、学校図書館の整備充実と、学校図書館を生かした読書活動や授業づくりの活性化を図る。

内容:県内全ての小中学校及び義務教育学校の学校図書館担当教諭と、学校司書、公立図書館司書が一堂に会した協議会を実施(年間2回)

第1回連絡協議会(5月9・13日開催)より

学校図書館関係者が、地域や中学校区ごとにグループになり各校の悩みや課題を共有し、課題に対してのアプローチの方法や特色のある手立てを交流することができた。

<参加者の声>

- ・各校の悩みを共有できてよかった。
- ・学校図書館の役割について理解が深まった。
- ・学校全体で組織的に動いていく必要があると分かった。
- ・自校において積極的に学校司書や公立図書館と連携していきたい。
- ・他の市町の実践も聞きたい。

第2回連絡協議会(2月7・8日開催予定)

- ・他市町との交流ができるようにグループを編成する。
- ・より実践的な内容の講義を実施する。



読書活動推進事業

目的:地域や学校の実態等に応じた、学校図書館の機能の利活用に係る調査研究を実施し、その成果や課題について検証、分析する。(国の委託事業)

内容:県内の小学校1校、中学校1校を推進協力校とする。年2回事業委員会と滋賀県学校図書館研究大会にて公開授業を実施。



令和6年度

学校図書館サポーター養成講座

学校司書に**必要な知識等**について学び、**関係者同士のつながり**を

作ることのできる講座を開設し、**学校司書となり得る人材**を育成

第5次滋賀県子ども読書活動推進計画 (R6～R10年度) ～滋賀まるごと「こども としょかん」を目指して～

学校図書館の機能強化および取組の充実

子どもの読書環境を支えるひとづくり

【内容】～学校司書として最低限知っておくべき知識を得ていただく～
全7回(令和6年7月～令和7年1月) 各回10時～15時
会場:県庁、県立図書館、大津市立青山小学校

①学校図書館の基本・教職員との連携(7月)

学校図書館や
図書整理の基礎知識

②本の分類・並べ方、選書の実践(8月)

③学校図書館の学習センター機能、
学校図書館での調べ学習(9月)

学習センター、
情報センター、
読書センター機能
とは?

④学校図書館の読書センター機能、
読書活動の実践(10月)

⑤学校図書館の情報センター機能、
ICTの活用、読書バリアフリー(11月)

実際の学校図書館
で実習します

⑥児童・生徒理解、学校図書館づくり(12月)

⑦著作権の基本、図書館活動における著作権(1月)

29名の方が
受講中



ブックトークの
実習の様子(10月)

【動画配信】

受講生のほか学校司書や教員も聴講できるよう
講座の動画をオンデマンド限定配信